

青少年教育施設の掲示物にみられる 命令・依頼表現「～ように。」について

—日本語を母語としない人たちにとっての分かりやすさの観点から—

小出祥子 山下玲香

1. 研究の背景

「自然の家」をはじめとする青少年教育施設は、日本における野外教育の重要な活動の場として利用されており、主に学校教育における集団宿泊学習や林間学校などの野外教育プログラムが学校行事の一環として実施されている（文部科学省）⁽¹⁾。

筆者らの所属大学が置かれている愛知県においても、愛知県旭高原自然の家をはじめとする複数の青少年教育施設があり、これらの施設の多くは認定特定非営利活動法人愛知ネット（以下、愛知ネット）が指定管理を受け、社会教育活動の位置づけで運営をしている。愛知ネットが運営する青少年教育施設は、愛知県美浜自然の家、愛知県旭高原自然の家、愛知県野外教育センター、豊橋市青少年センターの4施設で、愛知ネット公式ホームページ⁽²⁾には、社会教育の方針として以下の2点が掲載されており、若者をはじめとする愛知に住む幅広い年代の人々が施設を利用できるようにになっている。

全ての県民が、あらゆる機会、あらゆる場所を利用して、自ら実生活に即した教養を高められるように、環境を整えた社会教育の場の提供。

社会教育拠点と位置づけ、青少年が学習や話し合いを進め、仲間づくりや各種の催しに参加し、趣味を育て、教養を高めるとともに、青少年団体に自主的な活動の場の提供。

誰もが利用できる施設として、青少年教育施設は非常に魅力的であるが、一方で利用者が多様になることで施設の中の問題や課題も多様になりつつある。その大きな問題の1つが施設利用者の多国籍化による、不適切な利用方法だ。

愛知ネットの職員によると、青少年教育施設において、日本語が母語でない外国籍の利用者の対応に戸惑ったり、利用者が掲示された日本語がわからないことにより、施設を間違った方法で利用したりと、様々な困難が発生しているという。特に宿泊型の青少年教育施設は、一般的なホテルや旅館とは異なり、家庭ごみを持ち込まない（ごみを持ち帰る）、宿舎の清掃を利用者が行う、といった暗黙のルールが存在する。幼い頃より学校教育の中で整理整頓や美化活動などを行っている我々にとっては受け入れやすいルールであるが、これは日本独自の文化であり、外国人にとっては理解が及ばないかもしれない。佐藤（2021）⁽³⁾の公衆浴場に関する研究において、東京都大田区の公衆浴場の経営者を対象に外国人利用者に遠慮してほしい行為に関するアンケート調査を実施したところ、上位から「水着を着て入浴する」、「身体を洗わずに湯船に入る」、「身体を拭かずに脱衣所に戻る」、「大声で話す・騒ぐ」、「立ってシャワー・お湯をかぶるなど」がランクインしたという。これについて佐藤氏は、施設を利用するにあたってルールを知らない、日

本に来ている以上ここのルールに従ってもらいたい、マナーを知らないということは店側の周知が問題であるといった問題意識を持っていると述べている。

外国籍の利用者が施設を正しく利用するために、こういったところに困難があるのかを知り改善することで、彼らがより快適に施設を利用することができ、日本の文化や野外活動を楽しむことになるのではないだろうか。

そこで、本研究では、青少年教育施設で外国籍の利用者が間違って利用した事例を収集し、どういった日本語が伝わらないのか、あるいは理解が難しいのかを検討することとした。

2. 方法

研究の対象

愛知ネットが指定管理をしている4つの青少年教育施設（愛知県美浜自然の家、愛知県旭高原自然の家、愛知県野外教育センター、豊橋市青少年センター）の施設長・センター長4名を研究の対象とした。なお、この4名には、研究目的や方法、研究の参加は自由意志で拒否による不利益はないこと、個人情報の保護等について文書で説明を行い、書面にて同意を得た。

質問紙調査

施設を利用した外国籍の人が、標識や掲示に書かれている日本語とは違う用途や間違いなどをした事例を調査するために質問紙を作成した。質問紙の項目は以下の12項目で、Excelシートを用いて作成した。

①事例の発生した年月日、②利用者の国籍、③年齢層、④性別、⑤職業または立場、⑥発生場所、⑦具体的な発生事例、⑧表記や標識の有無（有の場合はその使用言語）、⑨表記や標識で実際に書かれていた文章（ふりがながある場合はカッコ書きで追記）、⑩写真、⑪備考1（その時の状況、対応など）、⑫備考2（その他自由）

質問紙を記入する際の注意事項として、不明な情報がある場合は「不明」と記入することと、⑩の写真の要件について、Excelシートに写真を取り込むことが難しい場合は別途、研究代表者にメールにて送信することとした。

質問紙の回答期間は2024年11月1日13時から11月10日17時までとし、研究代表者にメールにて返信することとした。

分析対象

日本語に関する具体的な回答を得ることができたのは、愛知県旭高原自然の家、愛知県野外教育センターの2つの施設である。

どちらの回答にも、掲示物に記載された日本語を、日本語が母語ではない利用者が理解できず、トラブルが起こった例が報告されていた。以下に、掲示物に記載された日本語の具体例を示す。

愛知県野外教育センター

表 1 愛知県野外教育センターの掲示物の日本語

図 1	館内禁煙	命令・依頼
	Room non smoking	命令・依頼
	喫煙は、玄関ピロティ脇の喫煙所をお願いします。	命令・依頼
図 2	部屋の整理整頓	内容の説明
	1 階 偶数部屋	図の説明
	敷布団	図の説明
	掛布団	図の説明
	まくら	図の説明
	ベッド	図の説明
	ハンガー	図の説明
	ロッカー	図の説明
	畳	図の説明
	暖房器具	図の説明
	ゴミ箱	図の説明
図 3	布団・シーツの整理のしかた	内容の説明
	寝具の使い方	内容の説明
	掛布団のたたみ方	内容の説明
	2 回たたんで、通路側から見て※図1のようになるように置く	命令・依頼
	長辺を折る	命令・依頼
	折って長くなった方を折る	命令・依頼
	布団は壁側によせて、次に使う人が敷きやすいように、※図2のように、三つ折りにたたむ	命令・依頼
	壁	図の説明
	シーツのたたみ方	内容の説明
	シーツの重なった状態から3回折る	命令・依頼
	枚数を揃えてきちんと返す	命令・依頼

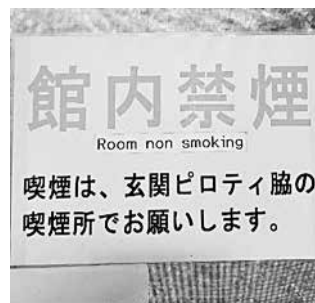


図 1 掲示物 1

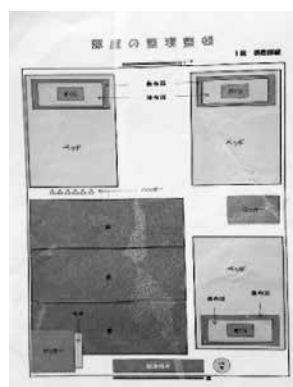


図 2 掲示物 2

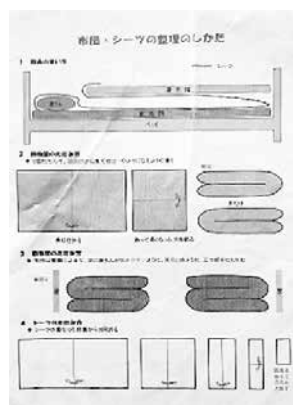


図 3 掲示物 3

愛知県旭高原自然の家

表2 愛知県旭高原自然の家の掲示物の日本語

図4	故障のため、ご使用できません。	命令・依頼
図5	お願い	内容の説明
	忘れものをしないように。	命令・依頼
	タオルを浴槽内に入れないように。	命令・依頼
	貴重品は各自で安全に。	命令・依頼
	他のみなさんに迷わくをかけないように。	命令・依頼
図6	お願い	内容の説明
	ご入浴が終わりましたら次のご利用者のために、備付けの道具を使って、脱衣所床の清掃・消毒をお願いします。	命令・依頼



図4 掲示物4



図5 掲示物5



図6 掲示物6

これらで使用されている日本語は、意味的役割の点から、3つに分けられる。

- (1) 命令・依頼 (例) 館内禁煙、長辺を折る ……
- (2) 内容の説明 (例) 部屋の整理整頓、布団・シーツの整理のしかた……
- (3) 図の説明 (例) 1階偶数部屋、シーツのたたみ方……

例えば(1)の「館内禁煙」は、利用者に対して館内で喫煙をしないように要求しているため、意味的役割を「命令・依頼」とした。それに対して(2)の「部屋の整理整頓」が表しているのは、この張り紙は部屋の整理整頓について書かれているという、張り紙の内容の説明である。(3)の「1階 偶数部屋」は、下の図が1階の偶数部屋の様子であるという、図の説明である。

以上のように分類すると、内容の説明や図の説明は、すべて名詞句で表示されているのに対して、命令・依頼は、以下のような様々な形式が用いられていることが分かる。

- | | |
|--------------|-------------------------------------|
| (4) 名詞句 | (例) 館内禁煙 |
| (5) ～お願いします。 | (例) 喫煙は、玄関ピロティ脇の喫煙所でお願いします。 |
| (6) 終止形 | (例) 2 回たたんで、通路側から見て※図 1 のようになるように置く |
| (7) ～ように。 | (例) 忘れものをしないように。 |

しかし、日本語学習者が初期に学習すると予想される命令形による命令・依頼や、「～ください」という形式は現れない。命令・依頼を表す多様な形式が用いられているこの状況に、日本語を母語としない利用者がトラブルを起こしてしまう原因はないだろうか。

そこで本稿では、これらの形式のうち特に文末に使用されて命令・依頼を表す「～ように」(以下、「～ように。」)に注目し、コーパスを用いて、日本語母語話者の使用実態と日本語学習者の使用実態を調査する。

3. 研究の対象形式

「ように」の包括的な研究として前田直子 (2006)⁽⁴⁾がある。前田 (2006) は、「ように」が使用される複文の従属節(「ように」節)について、意味・機能の観点から 4 つに分類している。まとめると以下ようになる。

1. 〈類似事態を示す用法〉: 主節に対して修飾・付加的に従属し、主節事態の様々な様子、様態を表す
2. 〈結果・目的を示す用法〉: 主節に対して修飾・付加的に従属し、一般に「目的」を表す
3. 〈思考・知覚の内容を示す用法〉: 主節に対して必須・補足的に従属し、〈思考・知覚の内容を示す用法〉
4. 〈命令・祈願の内容を示す用法〉: 主節に対して必須・補足的に従属するが、意味的には〈命令・祈願の内容を示す用法〉

本稿では、この基準を参考にする^(注1)。ただし前田 (2006) の〈命令・祈願の内容を示す用法〉をさらに「命令・依頼」と「祈願」に分類して、分析に用いたい。前田 (2006) はこの違いについて、以下のように述べる。

命令と祈願の相違点は、主節動詞の意味の違いと、従属節の主体の人称制限(命令の場合は発話時の二人称、祈願には制限なし)が指摘できる。そしてこの文末用法では、命令の場合は「動詞のル形＋ように」であるが、祈願の場合は、「マス形＋ように」となるという違いがある。(以下、下線は全て本稿に筆者による)

しかし、用例を確認すると、以下の通り、命令・依頼を表す「マス形＋ように」(8)(9)や、祈願を表す「動詞のル形＋ように」(10)(11)の存在が確認された。

- (8) 申しあげたのですが、まことに名誉なことでござるな。しっかり、はたらかれますように」(BCCWJ:LBpn_00005 50940 古川 薫 (著)『勝海舟 わが青春のポセイドン』)
- (9) しばらく悪路が続きますので、席からお離れになりませんように」(BCCWJ:PB19_00694 35380 ケント・ハリントン (著)／田村 義進 (訳)『死者の日』)
- (10) 寒くないように (改行) 痛くないように (改行) 何時も同じ祈りをするわたしは (改行) ぬくぬくぬくぬく (BCCWJ:OY14_28970 1550 Yahoo! ブログ) ((改行) は本稿の筆者による)
- (11) ……わたしの神にほめ歌をうたおう。どうか、わたしの歌が御心にかなうように。わたしは主によって喜び祝う」(詩編百四ノ三十三、三十四)(BCCWJ:PB51_00049 36980 エレン・G・ホワイト (著)『ミニストリー・オブ・ヒーリング』)

命令・依頼と祈願をどのような基準で分類するかについては、更に検討が必要ではあるが、本稿では、他者に具体的な行為を要求しているものを「命令・依頼」とし、話し手の期待や希望が述べられてはいるものの、他者への具体的な行為の要求がないものを「祈願」とみなすこととする。

4. 日本語教育における「～ように。」

まず、日本語教育でよく使用される解説書やテキストを用い、命令・依頼表現および「～ように。」がどのように扱われているかについて、以下で確認する。

『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』庵功雄ら(2000)スリーエーネットワーク⁽⁵⁾
対象とする学習者の日本語のレベルは、以下のように定められている。

なお、本書では「初級」の範囲を日本語能力試験 3, 4 級とし、『日本語能力試験出題基準』(凡人社 1994) に挙げられている同試験 3, 4 級レベルの文法項目を網羅しました。なお、一部同試験 2 級レベルの項目も含まれています。

日本語能力試験 3, 4 級の認定目安は、現在の N4、N5 の認定目安と同等で、「基本的な日本語を理解することができる」というものである⁽⁶⁾。日常的な場面で自然に日本語を理解することはまだ難しい学習者が対象とされている。それらの学習者に対して、命令・依頼表現は以下の形式が挙げられている。

話し手の気持ちを表す表現 (3)

—命令・依頼・勧誘—

- ・命令を表す表現 ～なさい、命令形 (しろ)／～な
- ・依頼を表す表現 ～てください、～てくださいませんか etc.,

～てくれ、～て

・ 勧誘を表す表現 ～ましょう、～ましょうか、～ませんか

～（よ）う、～（よ）うか、～ないか

「～ように。」は、命令・依頼を表す形式として挙げられていない。「～ように」は以下のように、文中で使用される形式として扱われているだけである。

5. ～ように

- (1) はしで食べられるように肉を小さく切っておいてください。
- (2) 蚊が入らないように網戸をつけています。
- (3) 先生は、留学生もわかるように、ゆっくり説明した。

「ように」は望ましい状態・状況を述べることにより目的を示す表現です。

ただし、文中で使用される形式としても、目的を示す表現が紹介されているだけで、「早く帰るように言った」のような命令・依頼を表す例は扱われていない。

『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』庵功雄ら(2001)スリーエーネットワーク⁽⁷⁾
対象とする学習者の日本語のレベルについては、次のように定められている。

本書では、中上級の範囲を日本語能力試験2級以上のレベルとし、～中略～初級編の個々のセクションの記述を受け継ぎつつ、さらに高度な内容を扱ったものになっています。

日本語能力試験2級は、現行の試験のN2にあたり、認定の目安は「日常的な場面で使われる日本語の理解に加え、より幅広い場面で使われる日本語をある程度理解することができる」ことである。高いレベルの日本語学習者が想定されている。

しかし、庵ら(2001)においても、命令・依頼を表す「～ように。」は扱われていない。扱われているのは、「ように思う」のように使用される例と、庵ら(2000)でも扱われていた目的をあらわす「ように」である。

「と思う」の場合は「と」の代わりに「ように」を使うことも可能ですが、「ように」は「と」よりも断定の度合いが弱い表現なので、「～たい、～（よ）う、～てほしい」のあとでは「ように」は使えません。

(中略)

次のように、「と」も「ように」も使える場合、「ように」を使うと断定を避けているニュアンスが生じます。

- (19) 彼は来ない {と／ように} 思う。

(中略)

目的を表す表現

(2) 私は旅行に行けるように貯金をしている。

(中略)

目的を表す代表的な形式は「～ために」と「～ように」です。

命令・依頼の形式については、庵ら（2000）から追加されているのは、以下の項目である。

1-7関連づけを表さない「のだ」

—命令、認識強要—

(1) さっさと帰るんだ。

(中略)

関連づけを表さない「のだ」の第一の用法は（1）のように命令を表すものです。これは命令形と同じぐらい直接的な言い方なので、目下の相手にしか使えません。

(中略)

第一の用法の場合、辞書形だけでも命令の意味を表すことがあります。

(4) さっさと帰る。

以上、庵ら（2000）（2001）において、「ように」が命令・依頼の意味で使用される例や、文末に使用される例は扱われていないことが確認された。

『日本語能力試験 20日で合格 N3 文法力アップドリル』国書日本語学校(2019)国書刊行会⁽⁸⁾

国書日本語学校（2019）は、「日本語能力試験」の「N3・文法」の対策問題集である。N3は、旧試験の2級と3級の間レベルであり、「日常的な場面で使われる日本語をある程度理解することができる」のが認定の目安である。

「ように」については、以下のような記述が見られた。

～ようだ／～ような／～ように

接続 普通形（な形容詞＋な | 名詞＋の）

～ようだ [文末]／～ような [+名詞]／～ように [+動詞／形容詞]

意味 ～に見える、（例えば）～に思う、～みたい、～らしい

* 「～よう」は「～みたい／～らしい」の書きことば

例 あなたはまるで天使のようだ。[文末]

あの人はまるで子どものような人だ。[+名詞]

彼女はまるでバラのように美しい。[+動詞／形容詞]

～ように①

接続 動詞・辞書形、動詞・ない形 *接続する動詞の種類は、無意志動詞となる

意味 ～という目的で、～ために

例 明日朝早く起きられるように、今日は早く寝よう。

～ように②

接続 動詞・辞書形、動詞・ない形

意味 ～てください、～と願う

例 しっかり体を休めるように。

(中略)

～ように②

「～ように」の後ろは、「～ように（してください）」が省略されています。

本稿が注目する命令・依頼をあらわす文末の「～ように。」は、「ように」の周辺的な用法として、「～ように②」で扱われている。

以上、命令・依頼を表す文末の「～ように。」は、日本語教育のなかで扱われることは少なく、扱われたとしても N3 以上の認定を目指す学習者に対して、「～ように」の周辺的な用法として扱われていることが確認された。

5. 日本語学習者の文末「～ように。」の使用実態

次に、日本語学習者がどの程度、命令・依頼を表す「～ように。」を使用できるのかを確認する。

佐藤香織 (2012)⁽⁹⁾は、以下のような「ように」を用いた間接話法について、日本語学習者の修得状況を調査したものである。

(12) ご連絡くださるようにお伝えいただけませんか。

(用例は佐藤 (2012) によるものに筆者が下線などを付した)

佐藤 (2012) が対象としているのは、「ように」が文中で使用されるものであり、本稿が対象とするものとは異なる。ただし、用法としては「ように」が命令・依頼を表す例を対象としている。日本語学習者が命令・依頼を表す用法として、どのように「ように」を修得しているかを佐藤 (2012) でまず確認したい。

今回の調査結果をみると、「ように」を用いた間接話法を産出できた学習者は20%程度であり、習得状況は決して良いとは言えない。特に2級合格者の大半は、「命令、依頼」の発話引用文自体を産出することができていない状況であった。(中略)

一方、1級合格者については半数弱が「ように」節を産出することができていたが、(3)で挙げたように待遇表現の調節ができず語用論的に不適切な文の産出も見られた。そして残りの半数弱は「と」節を用いた直接話法の文を産出していた。

2級合格者だと20%程度、1級合格者であっても半数以上が「ように」を用いた「命令・依頼」の間接話法を産出することができないということが確認されている。佐藤（2012）が調査したのは日本語学習者の使用語彙であり、理解語彙とは異なる。また佐藤（2012）の対象である「ように」を用いた間接話法は、本稿の観察対象とする文末の用法ではない。しかし、「ように」を「命令・依頼」の意味で使用するのは日本語学習者にとって非常に難しいことであると確認できたといえよう。

次に、コーパス検索アプリケーションの「中納言」を使い、『多言語母語の日本語学習者横断コーパス 中納言版（以下、I-JAS。中納言バージョン2.7.2。データバージョン 2024.03）』で文末「～ように」を検索した。

短単位検索モードを用い、キーは「語彙素＝“様”」、キーから後方の一語を「書字形出現形＝“に”」という条件で検索した。また文末形式として現れる場合には「ように。」の他にも「ように！」「ようにね。」等もあることを想定し、キーは文末から4語以内という条件も設定している。

この条件で検索した結果123例を得たが、「ようになります。」「ように見えます。」等、文中に現れる例を除去したところ、考察対象となるのは39例となった。また、以下のような、「ように」で文が終わっているように見えるものの、その後あいづちがあり、あいづちの後に、文の続きが現れるものについても、文中の例として除去した。

- (13) ……もい、しす、なんか異常に一気温が上がってきてー」「ふーん」「すごくー、夏のように」「なんかねー」「暑くなりました」(I-JAS:KKR44-I)

対象となった形式は、文末に現れる「ように」「ように、と」「ように、はい」「ように、先生」「ように？」「ようにー」「ように」「ようにあの」「ようにって」である。

以上の形式が、どのような意味で用いられているかを調査したのが、表3^(注2)である。

表3 I-JASに現れる「～ように。」

意味用法	用例数	pmw（調整頻度）
類似擬態	20	3.045414
結果・目的	12	1.827248
思考・知覚	0	0
命令	2	0.304541
祈願	5	0.761353
総計	39	5.938557

今回対象としている「命令・依頼」を表す例は、「～ように。」の用例全39例中、2例しか現れない。非常に使用される頻度が低い形式であることが確認された。

- (14) 「……がいいって、私もそう思うんだけども」「んーチンさんに一騙されないように」
「{笑} そう、チンさん、見る目がないかしらねー」「んーそうですねー」
(I-JAS: TTH15-RP2)
- (15) 「……時は、マリさんは起きました#（文脈中の発話区切り記号）よく説明しました#
（文脈中の発話区切り記号）あと、誤解しませんように#（文脈中の発話区切り記号）
終わりました#（文脈中の発話区切り記号）」「はい」(I-JAS: JJE60-ST2)（(文脈中の発話区切り記号）は本稿の筆者による）

(15) については、「ように」の後に文脈中の発話区切り記号が付されていたため、文末の例としたが、「誤解しませんように終わりました」という文中の例とも解釈することができ、仮に文中の例だった場合、さらに命令・依頼を表す「～ように。」の使用例は減少し、(14) 1例のみとなる。

次に、試みに、同コーパスを用い、「～ください」という命令・依頼を表す基本的な形式が、どの程度用いられているかを調査した。短単位検索モードを用い、キーは「語彙素＝“下さる”」、「活用形＝“命令形”」とし、キーは文末から4語以内という条件も設定している。その結果、表4の通り、「ください」「くださーい」という形式で、381例の使用例を得ることができた。

表4 I-JAS に現れる「～ください」

形式	用例数	pmw（調整頻度）
くださーい	3	0.456812
ください	378	57.55832
総計	381	58.01513

日本語学習者は、命令・依頼の表現を行わないわけではない。しかし、命令・依頼表現の中で「～ように。」の形式がほとんど用いられていないことが確認できた。

6. 日本語母語話者の「～ように。」の使用実態

次に、日本語母語話者の「～ように。」の使用実態を調査した。コーパス検索アプリケーションの「中納言」を使い、『現代日本語書き言葉均衡コーパス 中納言版（以下、BCCWJ。中納言バージョン2.7.2。データバージョン2021.03）』を検索した。

「ように」という文末形式を集めるため、短単位検索モードを用い、キーは「語彙素＝“様”」、キーから後方の一語を「書字形出現形＝“に”」という条件で検索した。また文末形式として現れる場合には「ように。」の他にも「ように!」「ようにね。」等もあることを考え、キーは文末から4語以内という条件も設定している。

この条件で検索を行ったところ、11846件が得られたが、ここから「ように、」「ように見える。」「ようにしよう。」等の「ように」が文中に現れる例を除去した。考察対象となったのは3581例^(注3)である。

表5 BCCWJに現れる文末「～ように」

意味用法	用例数	割合	pmw(調整頻度)
類似事態	1406	39.3	13.40178
結果・目的	294	8.2	2.802363
思考・知覚内容	1	0.0	0.009532
命令	1128	31.5	10.75192
祈願	752	21.0	7.167949
総計	3581	100	34.13354

以上を見ると、BCCWJでは「～ように。」の3割近くを命令・依頼を表す例が占める。日本語学習者と比べ、日本語母語話者は文末「～ように。」を命令・依頼を表すときによく使うといえる。

では、日本語母語話者は、どのような状況で文末「～ように。」を命令・依頼として使用しやすいのだろうか。以下で、文書の種類ごとに文末「～ように。」の出現の様子を概観する。

表6 文書の種類と文末「～ように」の使用

	出版・雑誌		出版・書籍		出版・新聞		図書館・書籍		ブログ		ベストセラー			
意味用法	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合		
類似事態	51	39.2%	435	47.5%	4	33.3%	569	53.3%	122	17.1%	67	37.4%		
結果・目的	19	14.6%	87	9.5%	2	16.7%	73	6.8%	51	7.2%	12	6.7%		
思考・知覚内容	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.1%	0	0.0%		
命令・依頼	48	36.9%	286	31.3%	4	33.3%	320	30.0%	109	15.3%	83	46.4%		
祈願	12	9.2%	106	11.6%	2	16.7%	106	9.9%	430	60.3%	17	9.5%		
総計	130		915		12		1068		713		179			
	韻文		教科書		広報紙		国会会議録		知恵袋		白書		総計	
意味用法	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合	用例数	割合
類似事態	31	88.6%	19	63.3%	4	15.4%	18	58.1%	85	19.2%	1	100.0%	1406	39.3%
結果・目的	1	2.9%	6	20.0%	1	3.8%	5	16.1%	37	8.4%	0	0.0%	294	8.2%
思考・知覚内容	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.0%
命令・依頼	2	5.7%	3	10.0%	7	26.9%	8	25.8%	258	58.4%	0	0.0%	1128	31.5%
祈願	1	2.9%	2	6.7%	14	53.8%	0	0.0%	62	14.0%	0	0.0%	752	21.0%
総計	35		30		26		31		442		1		3581	

以上から、「～ように。」は、文書の種類では「知恵袋」や「ベストセラー」で使用されるとき、「命令・依頼」の意味で使用されやすい傾向がみられる。その傾向は、以下(表7)で調整頻度(100万語あたり何例出現するかという頻度)を確かめても、同様である。

表7 「命令・依頼」の意味で使用される
文末「～ように」の調整頻度

レジスター	pmw
出版・雑誌	10.79988444
出版・書籍	10.01671215
出版・新聞	2.91921155
図書館・書籍	10.53398654
ブログ	10.69241426
ベストセラー	22.17910509
韻文	8.878116774
教科書	3.231202212
広報誌	1.864101166
国会会議録	1.567868418
知恵袋	25.15385531
白書	0

「知恵袋」は yahoo！が運営する Q&A サイトに現れる日本語である。

- (16) 将来のために今の時間を大切にね。といっても睡眠はきちんととるように。これ結構大事。規則正しい生活と計画ある勉強が成功への鍵です。(BCCWJ:OC09_02061)

主に質問に答える文脈で命令・依頼を表す「～ように。」が使用されている。またベストセラーの文末「～ように。」に現れる特徴として、用例の半数が会話文であるということが挙げられる。

- (17) 「わかりました」「今日のことは、決して他言しないように」「了解しました」机の向こうからアコーカ大佐に命令を下し…… (BCCWJ: OB3X_00026シドニィ・シェルダン(著)／天馬 龍行(訳)／紀 泰隆(訳)『時間の砂』)

どちらの場合も、命令・依頼を表す「～ように。」は、交流の相手としての聞き手、読み手を想定した文章の中で使用されているといえる。

しかし、同様に読み手との交流を目的として書かれることも多いブログでは、命令・依頼を表す「～ように。」の使用は少なく、祈願を表す「～ように。」が多く表れているのが特徴である。おそらくこれは、読み手の性質の違いが影響しているのだろう。

ベストセラーに現れる会話文の場合、会話の相手は普通、特定の人物である。また、「知恵袋」は web に公開されているという性質上、不特定多数の人間が読むことができるものの、Q&A サイトであるから、書き手は質問者や、質問者と同様の疑問を持った人を、読み手として具体的に想定できる。それに対して、ブログは具体的な読み手を想定することが難しく、不特定多数の人に対して文章が書かれていることが多い。そのような場合、命令・依頼を表す「～ように。」は

それほど現れず、祈願を表す「～ように。」が多くあらわれる傾向があると言える。

この観点から考えると、本稿が注目した青少年教育施設の掲示物の日本語は、ベストセラーのようにある特定の人物が読み手として想定されているわけではないものの、施設を利用しているという性質をもった人を読み手として具体的に想定して書かれているといえる点で、知恵袋と同様の傾向を持つ。この点において、青少年教育施設の掲示物は、命令・依頼を表す「～ように。」が使用されやすい環境であるといえる。

また森山卓郎（2013）⁽¹⁰⁾に、命令・依頼を表す「～ように。」（森山（2013）では「ように」指示文）について、以下のような指摘がある。

行為内容について話し手が恩恵を受けることは表示されない。遂行されるべき行為が示されるにすぎないのである。

この点で、「ように」指示文も「こと」指示文も、個人的な要求よりもむしろ公的な文脈で使いやすいといえる。

（中略）

待遇的価値という点では、裸の命令形がぞんざいな印象を与えて文体的価値が極めて低くなるのに対して、「ように」型指示では、丁寧ではないものの文体的価値が大きく下がるわけではない（森山二〇一三）。「てくれる」が使用されないことも含めて、こうしたところから公的な発話として指示を与える、ないし、注意事項を伝達するというニュアンスが生まれると言えそうである。

以上のように、命令・依頼を表す文末「～ように。」は、公的な場で使用されやすいという特徴も持っている。これらの要因から、今回注目した青少年教育施設の掲示物は、日本語母語話者が命令・依頼を表す「～ように。」を使用しやすい条件がそろっているといえる。

7. 日本語を母語としない人たちに分かりやすい命令・依頼表現

以上、命令・依頼を表す「～ように。」が日本語学習者と日本語母語話者にどのように使用されているかを確認してきた。

その結果、日本語母語話者にとって、青少年教育施設の掲示物は、読み手の性質や、公的な場であるという条件から、命令・依頼を表す「～ように。」が使用されやすい特徴を備えていることが明らかとなった。しかし一方で、日本語学習者にとって命令・依頼を表す文末「～ように。」は、ほとんど使用されない形式であることも確認された。

公的な環境で命令や依頼を行いたい場合、日本語母語話者が「～ように。」という形式を用いるのは自然なことである。しかし、日本語を母語としない人たちには伝わりにくい形式であるということも、意識しておく必要がある。分かりやすい表現を目指すのであれば、命令・依頼を表す「～ように。」は、できるだけ用いるべきではなく、日本語初学者が学ぶ「～ください」等の表現を使用するべきであるという結論を得た。

参考・引用文献

- (1) 文部科学省 野外教育の現状と課題、青少年の野外教育の振興に関する調査研究者会議
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/sports/003/toushin/960701c.htm（最終閲覧日：2024年12月5日）
- (2) 認定特定非営利活動法人愛知ネット公式ウェブサイト「社会教育活動」
<http://www.npo-aichi.or.jp/about/#act02>（最終閲覧：2024年12月5日）
- (3) 佐藤汰門（2021）公衆浴場の現状から見る温浴施設における入れ墨をしている人の利用を巡る問題、法政地理53、pp. 49–60
- (4) 前田直子（2006）『「ように」の意味・用法』笠間書店
- (5) 庵功雄、高梨信乃、中西久実子、山田敏弘（2000）『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』松岡弘監修、スリーエーネットワーク
- (6) 国際交流基金、日本国際教育支援協会 日本語能力試験公式ウェブサイト「日本語能力試験 JLPT2011年実施案内」
<https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/2r985200000261i3-att/2r985200000261te.pdf>（最終閲覧：2024年12月5日）
- (7) 庵功雄、高梨信乃、中西久実子、山田敏弘（2001）『中上級を教える人のための日本語文法ハンドブック』白川博之監修、スリーエーネットワーク
- (8) 国書日本語学校（2019）『日本語能力試験 20日で合格 N3 文法力アップドリル』国書刊行会
- (9) 佐藤香織（2012）「日本語学習者の「ように」を用いた間接話法の習得状況について」秋田大学国際交流センター紀要 vol. 1、pp. 17–26
- (10) 森山卓郎「「ようにする」命令形の文と「ように」型指示文」日本語学33（4）、pp. 44–45

調査資料

『現代日本語書き言葉均衡コーパス』ver. 2021. 03、国立国語研究所、<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>
『多言語母語の日本語学習者横断コーパス』ver. 2024. 03、国立国語研究所、<https://chunagon.ninjal.ac.jp/>
「中納言」版 BCCWJ／短単位語数 ver. 1. 1、国立国語研究所、<https://clrd.ninjal.ac.jp/bccwj/bcc-chu-suw.html>

注

- (1) ただし、本稿が注目するのは文末形式であり、主節が現れないため、判断しづらい例もあった。できる限り、文脈から主節の内容を補い、前田（2006）の基準によって分類するようにしたが、判断しづらいものについては、他者に何らかの具体的な行為を要求している場合を「命令」の用例とした。

また、前田（2006）も指摘するように、「ように」節には、変化の結果の状態を表す例もあるが、本稿では、それにあたる(ア)(イ)のような例は考察対象から除いている。これらは、「～ようにする」「～ようになる」から「する」「なる」が省略されたものととらえることができる。

- (ア) 奥に見える道路の目隠しに針葉樹を植え、レンガを積んだパティオ、木製のガゼボ（東屋）を設置し、お客様をよんでパーティーができるように。手前のおしゃれな構造物はなんと物置。（PB5n_00103 48630 実著者不明『エクステリア & ガーデン no. 3』）

